

道の駅「ビオスおおがた」と高知工科大学（経済・マネジメント学群 顧客価値創造プロセス研究室 永島研究室）の学生が連携して、黒潮町の豊富な「食」と「自然」を、観光商品としてアピール取り組みを企画提案します。

①来場者へのヒアリング調査と黒潮町の観光資源の把握

- ・道の駅「ビオスおおがた」利用者のニーズを調査
- ・黒潮町の「食」や「自然」を学び、地域の観光資源を把握

反映

②イベント出展による道の駅と地域の宣伝・PR

- ・イベント（ものづくり総合技術展）に出展し、情報を発信
- ・SNSによる情報発信

発展

③イベント参加による黒潮町の豊富な「食」と「自然」のPR

- ・作品を第21回 潮風のキルト展に出展
- ・「カツオのたたきバーガー」の体験型販売
- ・地域の景観マップの作成・配布

反映

【観光資源を学習】

道の駅の来場者や関係者から意見を聞きながら、「潮風のキルト展」において道の駅と黒潮町の豊富な食と自然を観光商品としてアピールする取り組みに反映します。

潮風のキルト展



11月、らっきょうの花が咲き始める季節に開かれるパッチワークキルトのコンテスト。全国から集まったキルトが静かに潮風にそよぎ、色んな表情を見ることが出来ます。

【高知工科大学による商品販売促進の実績】

高知工科大学では、学生自らが、自然景観、食文化、伝統芸能などと顧客の共感、感情といった新たなマーケティング論を研究してきた実績があり、これらのノウハウを活用していきます。

東京での高知産品販売促進



高知工科大学は、集中的な科目履修を可能にするクォータ制や学生の自主性を重視した全科目選択制など、先進的な教育システムをいち早く取り入れており、4学群を設けています。

このうち、経済・マネジメント学群は、7つの専攻を設定しており、1年次から2年次前半には、学群共通の経済系・経営系の専門基礎科目を学び、2年次後半以降は「専門発展科目」を、さらに3～4年次では各専攻において「専攻領域科目」を学び、専門性を高めます。

また、各省庁の地域活性化政策担当者や地域再生事業に関わるリーダー、大学教員等の講師が、講義、パネルディスカッション、グループワーク等を通して、より実践的な教育を推進する「地域活性化システム論」は、高知工科大学ならではの特色ある教育プログラムとして注目を集めています。

【道の駅「ビオスおおがた」について】

道の駅「ビオスおおがた」では、「カツオたたきバーガー」が人気商品。隣接する砂浜美術館では、自然を舞台にTシャツアート等を展開し、情報を発信中。

特産のカツオたたきバーガー



※お持ち帰り不可

平成27年度 取組み内容①：イベント出展による道の駅と地域の宣伝・PR

取組み前の議論

- 出展に関してアイデアを出し合い、プレゼンを繰り返すなど、入念な準備を重ねました



- ものづくり総合技術展のチラシ

展示による視覚でのアピールだけでなく、直接触れることで本物の良さを実感してもらうことをコンセプトに企画・提案を行いました。

そのため、美しい砂浜のよさを体験してもらおうと、ケースに入った砂を用意し、宝探しをしてみました。

- ものづくり総合技術展への出展の様子



- ブースに掲げた大看板

壮大な黒潮町「食と自然」の融合により生まれる価値

産業教育ゾーン



黒潮町から皆様の知らない高知の魅力を届けます

高知工科大学 顧客価値創造プロセス研究室では、「食と自然」をテーマに黒潮町にある「ビオス大方」という道の駅から地域活性化を行っており、黒潮町の様々な魅力を学生目線で発信しています。

そこで私たちは「カツオたたきバーガー」「砂浜美術館」そして今話題の「黒潮町缶詰」などを融合し、黒潮町から皆様の知らない高知の魅力を紹介します。

高知工科大学 香美市土佐山田町宮ノ口185  
Tel.0887-57-2025 Fax.0887-57-2026

## 平成27年度 取組み内容②：イベント参加による黒潮町の豊富な「食」「自然」と「アート」の融合のPR

### 取組み前の調査

- 道の駅利用者に対する現地での聞き取り調査



- 道の駅関係者との意見交換



学生が実際に「潮風キルト展」に参加し、キルトの出展を行ったほか、黒潮町について学び、現地調査し、発見した魅力ある観光資源をもとに、「潮風キルト展」において集客のためのプログラムの企画・提案を行いました。

さらに、多くの人にイベント並びに地域のよさを知ってもらうために、ブログやSNSを活用しました。

- 男子大学生が手探りで20日かけて作成した50cm四方のキルト



- カツオたたきバーガーの販売  
(実際に来場者に作ってもらう体験は大人気)



- 取り組みを多くの人に知ってもらうために、ブログやSNSを開発（「龍馬が知らない四国」）



⇒ブログの開設にあたっては、情報学群の先輩にノウハウ教えてもらい、開設後は試行錯誤して更新を行いました。  
⇒3,000人以上のアクセスがあり、海外からのアクセスもありました。